

6年生「総合的な学習の時間」全4時間 「いじめ、ネットいじめ防止についてできること」

- ①いじめ、ネットいじめ防止について大切だと思うことを自分なりにまとめる（学習の個性化）自由度大
- ②ゲストティーチャーによる特別授業（対面・遠隔授業融合）
- ③スイッチャーとしての書き込みの検討（協働的な学び）
 - ②のスイッチャーとしての書き込みについての対話
 - 村上春樹『沈黙』についての意見交換
- ④学習履歴（スタディ・ログ）の活用
 - ①～③の振り返りシート（R80）による自身の意見のまとめ

① いじめ、ネットいじめについて調べる

- NHK for School 「スマホ・リアルストーリー」を視聴
- 文部科学省 「令和3年度全国いじめ問題子供サミット（オンライン開催）」を視聴
- 「人権作文コンクール」入選作品を検討 など

○問題解決学習の方法知を習得

○注意ではなく、手本となる児童をほめる

○フィールドバックは即時対応（俯瞰と個別）

学習の個性化 自由度最大



② ゲストティーチャーによる特別授業

- 「NHK for School」の教材の工夫（俯瞰の視点）
- 「Mentimeter」によるあえて残さない学習履歴
- 授業者がファシリテーターの立場の経験
- 学びを見守りつつも、教える行為を放棄しない



対面・遠隔授業の融合

③ 前時スィッチャーとしての書き込み、村上春樹『沈黙』の読み込み、協議

大学の先生がこれからは書き込みだけでまわりをよくするような人が魅力的だと言っていた。

また、沈黙を読んで傍観者が一番こわいものだという事も分かった。私は通報者として役に立ちたいと思う。

A・K

協働的な学び



④振り返りシートによるまとめ（週末の5分）

単元「いじめ、ネットいじめ防止」

R80記録

1	いじめ、ネットいじめ防止に関する調べ学習	2	ゲストティーチャー	3	スイッチャー書き込み「沈黙」の意見交換
	<p>人権作文に入賞した人は自分の個人的な出来事から考えていることがわかった。</p> <p>特にいじめについては、自分はいじめないではなく、自分にもできることを考えないといけないと思った。</p>	<p>いじめを防止するために通報者という役割があることを知って勇気もてた。</p> <p>なぜなら自分は今までいじめのような場面でも見るのがいやだったけど実際には何もできなかったからだ。</p>	<p>大学の先生がこれからは書き込みだけでまわりをよくするような人が魅力的な人だと言っていた。</p> <p>また、沈黙を読んで傍観者が一番こわいものだということが分った。私は通報者として人の役に立ちたいと思う。</p>		